

福井市【地域コミュニティにおけるDXの推進】

(1) 地域課題分野

①交通、 ②防災、 ③環境、 ④健康福祉、 ⑤産業、 ⑥農林水産、 ⑦教育、 ⑧行政、 ⑨観光・文化、 ⑩その他

(2) 課題

・担い手不足による自治会活動の負担減。自治会運営の効率化。地域コミュニティ内での情報伝達・共有手段の充実。高齢者世代のデジタルリテラシー向上。地域社会におけるデジタルデバイド解消の体制づくり。デジタルサービスを活用した暮らしの利便性向上。

(3) 現状

令和4年度より「地域コミュニティにおけるDXの推進」について検討を開始。具体的には、市内48地区の中から殿下地区（人口約400人、中山間地区）をモデル地区に設定し、①スマートフォンの活用講座の実施（スキルの習得）②自治会活動効率化や日常課題解決に向けたデジタルサービスの導入（スキルの習熟）③自律的な学びの場の醸成等を通じて前述の課題解決に取り組んだ。

令和5年度は、これらの取組みの中からスマートフォン活用講座を全地区に展開するとともに、デジタルデバイド解消に向けた啓発やガイドブックの制作などを行う。

(4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
福井市シルバー人材センター	スマホ講座の運営
NTTドコモ	スマホ講座をはじめとしたデジタル関連事業へのリソース提供

(5) 地域課題解決の糸口

・地域における日常生活上の諸課題（交通、買い物、医療、健康管理、見守り、交流、自治会活動など）に関連し、高齢者のデジタル機器活用の動機づけ、習慣化につながるサービス

- (例)
- ・地区外の家族が、地区内高齢者とのコミュニケーションを図ることや見守りを行うことのできるサービス
 - ・地区内で実施している市内医療機関と連携したオンライン診療の高度化を図ることのできるサービス
 - ・地区独自の郷土食や農家民宿、その他遊休資産等の地区の特性を生かして、地区住民によるまちづくり活動を促進することのできるサービス

(6) 提供可能な資産・データ

- ・モデル地区の実証フィールドとして提供
- ・地域企業や地域住民との連携